

芸術科（音楽）H22シラバス		2単位	普通科 第3学年 選択A
年間の到達目標		歌を楽しむ心を育てる。 合奏を通し、グループで協力して行うアンサンブルの楽しさを知る。 音楽映画鑑賞をすることにより、音楽的感性を豊かにし、知識を深める。	
教科書・副教材等		音友 高校生の音楽	
月	学習内容	学習のねらい	
4	ドイツ歌曲（リート）の歌唱 音楽映画鑑賞 トーンチャイムの基礎合奏	2つの野薔薇をドイツ語で歌い、作曲者の表現の違いを味わう。 トーンチャイムを使用し読譜力を養う。	
5	カンツォーネの歌唱 音楽映画鑑賞 トーンチャイムの基礎合奏	カンツォーネを歌いイタリア世俗歌曲の楽しさを味わう。 トーンチャイムの合奏を通し協力性を養う。	
中間考査範囲		中間テストは実施しない	
6	校歌1番、リート、カンツォーネの歌唱 音楽映画鑑賞 トーンチャイムの基礎合奏	実技テストに備える。 トーンチャイム音楽の多声部による合奏を楽しむ。	
7	歌唱テスト トーンチャイム合奏グループテスト	実技試験を通し自己の力を知ることにより、今後のさらなる発展のための足がかりをつくる。	
期末考査範囲		1学期に歌った歌曲及び、合奏曲より一曲選択する。なお、歌唱はソロ、合奏はグループによる。	
〔備考〕音楽を楽しく学習できるように高校音楽の基礎を身につける。			
9	日本歌曲の歌唱 音楽映画鑑賞 鍵盤楽器の合奏基礎	日本歌曲の情緒を味わう。 鍵盤楽器の基礎を学び合奏に備える。	
10	ミュージカル曲の歌唱 鍵盤楽器の合奏基礎	ミュージカルの代表的な歌を歌いミュージカルの楽しさを味わう。 鍵盤楽器を用いた簡単なアンサンブルを体験する。	
中間考査範囲		中間テストは実施しない	
11	アメリカの歌曲の歌唱 音楽映画鑑賞 グループ合奏試験	フォスターの歌などを歌い、アメリカ歌曲のルーツを探る。 鍵盤楽器のグループ合奏試験を目標に、一層アンサンブルの技術を高める。	
12	音楽映画鑑賞 鍵盤楽器の自由合奏	来学期の試験のために、グループで協力し合い練習を進め、アンサンブル力を高める。	
期末考査範囲		2学期に歌った歌曲及び合奏曲より、それぞれ一曲を選択し演奏する。	
〔備考〕よい雰囲気の中で努力し、基礎力をつける。			
1	合奏グループテスト	実技試験を通し、1年間の自らの成長を確認し、音楽する喜びを実感する。	
2			
3			
学年末考査範囲		3学期に歌った歌曲及び、合奏曲より一曲選択し演奏する。なお、歌唱はソロ、合奏はグループによる。	
〔備考〕歌う、聴く、演奏するという3つの実践を通し、音楽の楽しさをより身近なものとして感じ取れるようになったか振り返ってみる。			
評価の観点	内容	評価方法	
関心 意欲 態度 (10)%	表現の授業に関心を持ち積極的に参加すること。 音楽史などの理解に意欲を示すこと。 教科書、配布物、筆記用具を用意し、物事に前向きに取り組む態度を示すこと。	出欠の状況 授業に臨む平素の態度	
芸術的な感 受や表現の 工夫 (10)%	合奏時協力し合い練習を進めること。 合唱時、他生徒の協調性があること。 鑑賞時集中して音楽を聴き、理解しようと努力すること。	質疑応答 協力性、協調性 授業内容への関心度	
創造的な表 現の工夫 (40)%	楽器の演奏技術を向上させること。 歌唱表現を積極的に試みていること。 歌詞を暗譜すること。 音楽を自分のものとして表現しようとする。	楽器の演奏技術習得度 歌唱技術習得度 演奏の芸術性	
鑑賞の能力 (40)%	器楽の楽譜を正確に理解すること。 音楽史の内容を把握すること。	読譜力 音楽史理解力 芸術的文章の表現力	
()%			
〔担当者からのメッセージ〕 音楽の表現、鑑賞、知識の総合的な力がバランスよく身につくことこそ、音楽を幅広く楽しむことができるようになる。豊かな感性を育てるために、いろいろな側面から音楽にアプローチしてもらいたい。			